



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社

コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 福田吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	26,808	3.1	84	△42.0	71	△45.1	32	—
24年3月期第3四半期	26,009	△0.1	146	△72.8	130	△73.9	△32	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 31百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	2.10	—
24年3月期第3四半期	△2.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第3四半期	19,510		3,352		16.8
24年3月期	17,627		3,412		18.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,271百万円 24年3月期 3,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	2.7	300	130.8	250	77.3	150	614.3	9.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、(添付資料)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	16,861,544 株	24年3月期	16,861,544 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,543,873 株	24年3月期	1,542,255 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	15,318,511 株	24年3月期3Q	15,348,194 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、当初東日本大震災の復興需要などから緩やかな回復基調で推移していたものの、欧州の債務危機問題に加え、円高の長期化、日中関係の悪化や新興国経済の減速等の影響を受け、景況感が悪化、景気は弱含む展開となりました。当社グループを取り巻く経営環境も、低調な個人消費、長引くデフレ、原材料市況の上昇、電力料金の値上げなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、安定した収益の確保に向け、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減による「売上と利益の確保」、「品質および生産効率の向上」、「全社を挙げたコスト・経費の削減」に重点的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,808百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益84百万円（前年同四半期比42.0%減）、経常利益71百万円（前年同四半期比45.1%減）、四半期純利益32百万円（前年同四半期は四半期純損失32百万円）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益（営業利益）は、9ページ「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用662百万円を配分する前の金額であります。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前期比較につきましては、変更後の区分に基づいております。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の手提袋の販売数量の増加により、売上高は前年同四半期に比べ388百万円増加して10,697百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格の上昇をコスト削減で補えず生産利益が減少、加えて売上高の増加に伴い販売管理費が増加し、前年同四半期に比べ36百万円減少して489百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量の増加により、売上高は前年同四半期に比べ315百万円増加して10,136百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料価格および仕入価格の上昇に見合った売価修正ができず粗利益率は低下、加えて販売管理費が増加し、前年同四半期に比べ26百万円減少して178百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しておりますが、主要なお客様である大手小売業界における経費削減が継続している影響があるものの、新規市場の開拓に努め、売上高は前年同四半期に比べ95百万円増加して5,973百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は売上高の増加により粗利益は増加したものの、販売管理費が増加し、前年同四半期に比べ4百万円減少して79百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,883百万円増加して19,510百万円となりました。流動資産は、期間末日が休日であったこともあり受取手形及び売掛金が1,429百万円増加、たな卸資産が433百万円増加、未収入金が85百万円増加した一方、繰延税金資産が64百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,024百万円増加の13,810百万円となりました。固定資産は、設備投資により有形固定資産が201百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費257百万円、無形固定資産の減価償却費83百万円により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ141百万円減少の5,699百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,944百万円増加して16,158百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,264百万円増加、短期借入金及び長期借入金が749百万円増加した一方、賞与引当金が119百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少して3,352百万円となりました。これは、四半期純利益計上により32百万円増加した一方、剰余金の配当で91百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の18.8%から16.8%になりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、政権交代による大型景気対策への期待が高まるものの、国内経済の見通しは依然として不透明であり、当社を取り巻く経営環境も、原材料価格の上昇や為替の変動による仕入コストへの影響などから厳しい状況が続くものと思われまます。

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,141,794	1,212,231
受取手形及び売掛金	7,286,134	8,715,522
商品及び製品	2,087,835	2,451,183
仕掛品	381,266	315,776
原材料及び貯蔵品	374,733	509,898
短期貸付金	340	336
繰延税金資産	126,278	61,420
その他	396,651	551,798
貸倒引当金	△9,138	△7,495
流動資産合計	11,785,897	13,810,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,058,002	6,035,255
減価償却累計額	△4,491,599	△4,540,951
建物及び構築物（純額）	1,566,403	1,494,304
機械装置及び運搬具	10,154,848	10,035,102
減価償却累計額	△9,267,896	△9,214,750
機械装置及び運搬具（純額）	886,952	820,351
土地	1,123,398	1,123,398
リース資産	53,277	61,016
減価償却累計額	△23,171	△31,794
リース資産（純額）	30,105	29,222
建設仮勘定	4,612	90,316
その他	778,306	785,195
減価償却累計額	△708,190	△712,716
その他（純額）	70,116	72,479
有形固定資産合計	3,681,588	3,630,072
無形固定資産		
電話加入権	15,691	15,691
リース資産	131,773	93,498
その他	187,401	142,915
無形固定資産合計	334,867	252,105
投資その他の資産		
投資有価証券	1,069,731	1,069,474
破産更生債権等	7,085	7,084
事業保険金	129,570	117,895
差入保証金	161,758	162,869
繰延税金資産	256,370	273,986
その他	216,439	202,366
貸倒引当金	△16,180	△16,094
投資その他の資産合計	1,824,774	1,817,582
固定資産合計	5,841,230	5,699,761
資産合計	17,627,127	19,510,434

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,654,597	8,918,840
短期借入金	1,739,320	2,331,693
リース債務	62,155	28,863
未払金	477,487	591,193
未払法人税等	25,029	11,613
未払消費税等	43,364	48,157
賞与引当金	238,410	118,725
災害損失引当金	160	160
設備関係支払手形	72,479	3,437
設備関係未払金	48,668	9,613
その他	184,511	228,764
流動負債合計	10,546,184	12,291,063
固定負債		
長期借入金	2,650,869	2,807,876
リース債務	36,957	28,547
退職給付引当金	672,952	715,786
役員退職慰労引当金	302,930	310,681
環境対策引当金	4,308	4,308
固定負債合計	3,668,018	3,867,199
負債合計	14,214,202	16,158,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374,755	1,374,755
資本剰余金	1,450,226	1,450,226
利益剰余金	872,797	813,036
自己株式	△256,759	△256,953
株主資本合計	3,441,019	3,381,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,232	29,892
繰延ヘッジ損益	1,050	18,621
為替換算調整勘定	△148,704	△158,272
その他の包括利益累計額合計	△118,421	△109,758
少数株主持分	90,326	80,865
純資産合計	3,412,924	3,352,172
負債純資産合計	17,627,127	19,510,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	26,009,678	26,808,615
売上原価	21,953,386	22,770,859
売上総利益	4,056,292	4,037,756
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,913,416	1,956,241
給料及び手当	1,177,825	1,194,220
賞与引当金繰入額	59,851	58,080
退職給付引当金繰入額	73,174	76,113
賃借料	140,217	134,055
旅費及び交通費	82,473	81,012
その他の経費	463,303	453,386
販売費及び一般管理費合計	3,910,262	3,953,110
営業利益	146,029	84,645
営業外収益		
受取利息	103	219
受取配当金	25,500	26,644
貸倒引当金戻入額	8,385	1,946
持分法による投資利益	16,151	14,989
受取賃貸料	22,295	22,233
作業くず売却益	2,571	5,134
雑収入	19,439	16,817
営業外収益合計	94,447	87,986
営業外費用		
支払利息	84,324	79,196
為替差損	5,842	1,354
その他	19,512	20,233
営業外費用合計	109,679	100,785
経常利益	130,797	71,846
特別利益		
固定資産売却益	—	3,500
投資有価証券売却益	—	5,182
受取保険金	489	11,520
特別利益合計	489	20,204
特別損失		
固定資産除却損	169	2,780
投資有価証券評価損	84,632	—
ゴルフ会員権評価損	—	325
特別損失合計	84,802	3,105
税金等調整前四半期純利益	46,484	88,945
法人税、住民税及び事業税	19,237	27,959
法人税等調整額	65,070	32,909
法人税等合計	84,307	60,868
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,823	28,076
少数株主損失(△)	△4,943	△4,078
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,880	32,154

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,823	28,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,441	659
繰延ヘッジ損益	△33,683	17,570
為替換算調整勘定	△9,140	△17,007
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,368	2,057
その他の包括利益合計	△750	3,280
四半期包括利益	△38,574	31,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,389	40,817
少数株主に係る四半期包括利益	△6,184	△9,460

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,618,170	9,821,557	6,569,951	26,009,678	—	26,009,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,618,170	9,821,557	6,569,951	26,009,678	—	26,009,678
セグメント利益	490,426	204,500	120,030	814,956	△668,927	146,029

(注) 1 セグメント利益の調整額△668,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,697,848	10,136,929	5,973,838	26,808,615	—	26,808,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,697,848	10,136,929	5,973,838	26,808,615	—	26,808,615
セグメント利益	489,345	178,457	79,752	747,554	△662,908	84,646

(注) 1 セグメント利益の調整額△662,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、第1四半期連結会計期間より、事業戦略の見直しに伴い、従来「その他事業」に含まれていた品目の一部について「紙製品事業」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報について、変更後の区分方法による「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,309,338	9,821,557	5,878,783	26,009,678	—	26,009,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,309,338	9,821,557	5,878,783	26,009,678	—	26,009,678
セグメント利益	526,029	204,500	84,427	814,956	△668,927	146,029

(注) 1 セグメント利益の調整額△668,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、その他の注記事項、個別情報等は四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。